

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|---|---------|---|
| 1 | 施設名 | 仙台市大野田児童館 |
| 2 | 指定管理者 | 特定非営利活動法人ワーカーズコープ |
| 3 | 指定期間 | 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで |
| 4 | 施設の利用状況 | <p>《利用者数》34,257人 (前年度比 95.4%) 平成30年度 35,911人 平成29年度 34,322人 平成28年度 32,999人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p> |
| 5 | 収支の状況 | <p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 43,005千円 (43,478千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 0千円 (0千円) その他収入 0千円 (0千円) |
| 6 | 利用者の声 | <p>《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p> |

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|---|-------|
| I 総則 | 「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。 | 33/33 |
| II 施設の運営管理体制 | 職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 | 30/30 |
| III 施設・設備の維持管理 | 日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。 | 23/23 |
| IV サービスの質の向上 | 名札の着用、児童館だよりの発行による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。 | 28/28 |
| V 施設固有の基準 | 児童クラブにおいては、定期的に「子ども会議」を開き、生活や遊びを自分たちで考え進めていけるように支援している。また、児童館まつりを平日から土曜日に移行し、おやじの会にも協力していただいたことで、昨年度より多くの保護者や地域の方々が参加した。中高生の居場所作りを目的としたフリースペース「語LINE」についても、土曜日に開催したことでスポーツや読書等を目的に来館する児童が増えた。ボランティアとして登録した高校生が小学生のリーダー的存在として活動をするなど、幅広い世代の活動拠点となっている。 | 18/18 |

三 評価総括

| 《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》 |
|--|
| <p>子どもの最善の利益を念頭に子どもの意見を尊重し、地域の方に見守られた安心・安全な環境のもとで子どもたちが育成していけるよう努めました。</p> <p>【児童健全育成事業】 子ども達が主体的に過ごしていけるよう子ども会議を年8回開催。中高生の来館も増え、小学生と共にスポーツを楽しむ姿が見られ、利用の多い高校生はボランティア登録し、小学生のリーダー的存在として活動した。</p> <p>【子育て家庭支援事業】 転出入者の多い地域性を考慮し、月1回年齢別プログラムを自由参加形式にて開催。「たんぼぼDAY」を設け隣接する児童発達支援センターの地域相談員と連携を図り、発達に不安を持つ保護者を関係機関に繋いだ。</p> <p>【地域交流推進事業】 館まつりでは、近隣施設や民生委員児童委員、大野田小学校おやじの会にも協力を依頼し、地域全体での連携・協力関係を築いた。</p> <p>【放課後健全育成事業】 年2回の食育イベントへの保護者の協力を依頼し共通理解を深めた。地域の一員として地域に出向き、子ども視点での防犯・防災マップを作成し地域懇談会にて発表した。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|--|------|
| <p>子育て家庭支援事業について、「子育てサロン」では、地域先生やシニアボランティア、近隣の施設の方々の協力のもと、「身体メンテナンス」や「染物体験」、お昼ご飯を食べながらおしゃべりする「たたみーぜ」など保護者のニーズに応えたプログラムを提供しており、中には利用者があふれるほど盛況なプログラムもある。また、近くの発達支援センターたんぼぼホームと共催して「たんぼぼDAY」を年3回開催し、発達に心配なお子さんの相談を受けるなど、地域の中で子どもと子育て家庭を支える多様な事業に取り組んでいる点が評価できる。</p> <p>児童健全育成事業では、老人福祉センターや民生員委児童委員に呼びかけて、子ども達と一緒に定期的にゴミ拾いを行う「クリーン作戦」を実施しており、地域住民との世代間交流の機会になるとともに、子ども達自身が地域の一員であるとの自覚を育てる活動にもなっている。また、職員が独自に取り組んでいる「のらくらぶ」や「きらくらぶ」では、野菜作りや手芸クラブとして職員の得意分野を活かした活動を提供しており、児童の体験活動の幅を広げることのみならず、職員のスキルアップの機会としても有意義な取り組みを展開している。多彩なプログラムを通して子どもたちの好奇心を刺激し、豊かな感性を育てている。</p> <p>地域交流推進事業では、隣接する老人福祉センターの利用者の方に地域先生として協力していただき、「絵本の読み聞かせ」や「手話」、「将棋」など様々なプログラムを開催するなどし、積極的に世代間交流を図っている。また、町内会や民生委員児童委員など地域の協力を得ながら、子どもたちが地域に出て、「防災・防犯、マップ」を作り地域懇談会で発表するなど、子どもたちを中心においた活動を通して地域のコミュニティ作りが進んでいる。</p> | S |

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

| 特記事項 |
|------|
| |

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課